

愛 小島悦代 元全商連総務部次長

先物協会ニュース

JCFIA マンスリー

JCFIA
JAPAN COMMODITY FUTURES
INDUSTRY ASSOCIATION

発行 日本商品先物振興協会
〒103-0016
東京都中央区日本橋小網町9-9
TEL(03)3664-5731 FAX(03)3664-5733

<http://www.jcfia.gr.jp/>

FUTURES PLAZA

中部商品取引所は、6部2室で組織されています。私の所属している部署は「サービス部」といいます。ちなみに英語表記ではマーケティング・ディビジョン(Marketing Division)です。

サービス部と名乗ると、電話の向こうの方や名刺を見られた方は、不思議そうに確認されます。今では、サービス部という名称にもなれませんが、当初は、少し戸惑いを感じました。名称も仕事の内容も他の取引所にはないユニークなサービス部についてお話しします。

当部の発足は、平成



「適切な情報開示」が不可欠

中部商品取引所 サービス部課長 須原 香代

16年4月。それまでの会員の部加入・IR機能とを統合して、2年目になり、業務の内容は会員加入の促進、会員への情報の提供、各商品市場のPR、営業向けセミナー、投資家向けセミナーの開催など多彩で、当所の活動及び発表を迅速かつ正確に伝える広報活動を行っています。「適切な情報開示」こそ業界発展に不可欠と考えたからです。

現在、鉄スクラップと石油市場における営業活動の知識向上のため、受託会員各社に当所職員が直接出向き、休日の土・日曜に講習会及び検定試験を実施しています。このような活動を通じて

て、昨年の改正商品取引所法施行によりビジネスモデルの変更を迫られている商品取引所各社に付加価値の高いサービスの提供をしなければならぬと考え、取引所としても業界の活性化のため先物取引のPR活動を行っています。

今、業界は業容拡大に新たな対応を迫られています。特に新規商品の市場は単に出来高を増やすだけでなく、経済社会に役立つものが求められています。

鉄スクラップの上場は循環型社会に貢献、商品先物取引の新たな可能性を切り拓いたと自負しておりますが、このような「社会との共生」

「日本経済発展への一助」になることこそ、今後、商品先物業界が求めるべき道ではないでしょうか。

過去3回にわたった商取引法の大改正で「利便性、信頼性の向上」「国際化」が打ち出されてきました。このようなビジョンを絵に描いた餅にせず、具体化していくことが、いまこそ急務と考えられます。それには取引所、商品取引所が一体となって取り組んでいく必要があります。

中部商品取引所もその一翼を担いたいと考えています。

「プロフィール」
1976年旧名古屋穀物商品取引所入所。1996年合併により中部商品取引所。2004年よりサービス部。

平成18年度 事業計画・予算策定の基本方針

活性化、機能強化、効率化促進

先物協会は1月17日の理事会で平成18年度の事業計画・収支予算策定の基本方針を決めた。この基本方針に沿って常設委員会(総務委員会、制度政策委員会、広報委員会)が具体案を作成するが、以下の考え方を3本柱とする。会費(定率会費の予納単価)は据え置きとし、運営準備金は取り崩さない方針。

3つの基本方針と、その具体的な例は次の通り。

1. 市場の流動性確保と市場活性化の推進

- 商品取引受託業の信頼性の確保に係る支援
- 業務の多様な展開のためのインフラ整備(市場)
- 会員機能と清算会員機能、仲介機能等の分離と得意分野への集中・統合等多様な選択肢を可能とする制度検討

2. 業界関係団体の機能の強化と効率化の推進

- 商品先物知識普及活動における連携強化(会員・業界団体等と連携した草の根的知識普及)
- 団体機能見直しによる合理化・経費削減の検討
- 協会準会員制度活用による業界活動の強化

3. 協会運営の効率化・合理化

- 運営の効率化と意思決定の迅速化
- IT活用による情報共有化と会員意見の反映
- 予納単価2円50銭

また、収支予算の総額は定率会費の予納単価2円50銭(今年度と同額)に据え置き

先物協会は会員に対する情報提供について、できる限りホームページ経由とし、情報提供の迅速化及びコスト低減に努めていく。そのため利用者が効率よく必要情報入手できるように2月からホームページの内容を充実するとともに会員専用ページの掲載内容を追加し、レイアウトも変更した。

具体的な内容は次の通り。

(1) 委員会等の議事録・資料の電子的提供の追加

- ① 今後の議事録はすべてweb上での追加とする。
- ② 過去の議事録で、電子料の提供の追加

(2) 過去の議事録は将来的には分割して提供するが、下位の階層のページ作成が完了していない現状を考慮して、当面一括ファイルとして提供する。

資料のみあるいは議事録のみを必要とする者はファイルダウンロードした後、必要ページのみを印刷するよう誘導することで欲しい情報の入手が可能である。

(3) 「調査関連」項目の追加

会員に対して本会が行ったアンケート調査等の結果を掲載するスペースを追加した。

(4) 「市場振興戦略会議」開催済み及び開催前の会議資料の提供の省力化及び会員間の問題意識の共有化を目的として本スペースを設けた。

先物協会HP

会員専用ページを充実 ネット暗号化通信(SSL)導入



トップページ

また、関係者に限る情報の秘匿性については、第三者の盗み見などを防止するインターネット暗号化通信(SSL)を導入した。保障会社はセコム(SECOM)で、その保障マークをwebページ上に掲載することで、当協会ホームページのセキュリティに関する信頼性向上を期待できる。

また、関係者に限る情報の秘匿性については、第三者の盗み見などを防止するインターネット暗号化通信(SSL)を導入した。保障会社はセコム(SECOM)で、その保障マークをwebページ上に掲載することで、当協会ホームページのセキュリティに関する信頼性向上を期待できる。

助成論文を掲載

一般向けページでは先物協会の研究調査助成金制度を受けた研究等の成果論文の全文を掲載した(写真は論文のトップページ)。

商品取引監理官に井上明氏

農林水産省は1月6日、同省所管の商品先物行政を担当する総合食料局商品取引監理官に大臣官房付で、前農村振興局土地改良企画課長の井上明氏を同日付で当てる人事を発表した。

2003年1月から3年間、商品取引監理官を務めた田辺義貴氏は、農村振興局企画部農村政策課長に就任した。

井上 明(いの上 あり)

（氏略歴）1982年、東京大学経済学部卒、農水省入省。91年経済局国際部貿易関税課課長補佐、95年大臣官房総務課課長補佐、97年食品流通局品質課国際規格調整官、2001年総合食料局流通課卸売市場室長、03年農村振興局整備部防災課長。

JR高崎線の深谷駅から車で15分ほど北東に進むと血洗島という物騒な地名の集落がある。沢沢栄一

生誕の地で、近くに記念館があり、沢沢の肉声が聞ける。83歳の翁が持論の「道徳経済合一」説を諄々と説いている。▼平たく言えば論語とソロバンは両極端にあるようにみえるが、相反するものではなく、調和しなければならぬというのだ。沢沢の信念の根柢は孔子の教える「論語」にある。「それ算盤をはじくは利である。論語を読むは道徳(義)である。余はこの論語と算盤との二つが相伴い、相一致しなければならぬと信ずる」▼耐強強度擬装事件、ライブドア、東横イン……たて続けに企業不祥事が飛び出す。先物業界の大手企業が退場させられたのも、論語を忘れ、ソロバンに走ったからに他ならない。古語に「商人と屏風は真つ直ぐでは立たぬ」とある。だが、現代はこれが通用しないのだ。とは申せ、沢沢栄一はお金の貴さも忘れない。「老人も、壮者も、青年も、男女すべての貴ぶべきもの、それが金だ」と説く。だから、昭憲皇太后の「持つ人の心によりて宝とも、仇ともなるは黄金なり」の御製を信奉する。そして、功名心にはやる若者にこう呼びかける▼「早く出世しよう」と焦り、他人を押しつけて利己的立場から考える。その手段として機会ある毎に自分を偉く見せようと自己宣伝する。そして最も大切な自己の修養を閉却する傾向がある。▼ホリエモンよ、沢沢栄一を讀め、論語を繙け。今からでも遅くはない。(泉)